

ひ

ひあがっとる 水が無くなって居る (まぐわ参照)
[用例] たあも (田も) 雨なのおて (が無くて) ヒ
アガツトル。

ひあがらん 無くならない (みずた参照) [用例] 此
の川 めったん (絶対) ヒアガラン川や (だ)。

ひいあたっとる 火に当たって、暖を取って居る (ひ
いせせり参照) [用例] 焚火してヒイアタツトル。

ひいてある 敷いて有る (げす参照) [用例] 布団
ヒイテアル。

ひいてきた 盗んで来た (ひける参照) [用例] 他所
の畑のもん (物) ヒイテキタ。

ひいてたれ 引いて行った、持って行った、盗んで行
った (こすよま参照) [用例] 又しても、あの人な
(が) ヒイテタレ。

ひいなおりる 月経になる (ひいなおりた参照)

ひいなわりになった 月経になった (ひいなおりた参
照)

ひがみこんじょのへんしよばら 嫉妬深い (ひがみこ
んじよ参照)

ひかれやせん 引けない (あとに参照) [用例] 車な
(が) ヒカレヤセン。

ひがんどる 嫉妬して居る (へんしよ参照) [用例]
妹ん (に) ヒガンドル。

ひかんね 光ります、光るのです (だいこなます参
照) [用例] ダイヤモンドはよお (よく) ヒカンネ。

ひききってた 潮がよく干いた (ひきける参照) [用
例] 潮な (が) ヒキキツタ 早よ (早く) 遊び
ん行こや (に、行きましょう)。

ひきつけてた 痙攣発作を起こした (ひきつけ参照)
[用例] 熱がたっこおて (高くって) ヒキツケタ。

ひきつった 痙攣を起こした (ひきつる参照) [用例]
怒って顔な (が) ヒキツツタ。

ひきやげて 引き上げて (てざお参照) [用例] 舟
ヒキヤゲテ有る

ひきよおった 引きました、引いて居ました (いそぐ
るま、すべり参照) [用例] 昔は浜い (に) 舟ヒキ
ヨオツタ。

ひくね ひくのだ [用例] 車 ヒクネ。

ひけてくる 帰って来る (会社、学校等から) (ひけ
る参照) [用例] 会社 ヒケテクル時間や (だ)。

ひけてた 少なくなっていた

ひこや 引きましょう (まくひき参照) [用例] 車
ヒコヤ。

ひざこぞ 膝小僧 (ひざこぶし参照)

ひざっとる 退いて居る (せきとおいし、ひざる参
照) [用例] 後ろへヒザツトル。

びしゃいたた 潰してしまった (びしゃく参照) [用
例] ケーキ、ビシャイタタ。

びしゃいて 潰して (あぶらかす参照) [用例] 卵
ビシャイテ。

びしゃけてた 潰れて行った (びしゃく、みじやける
参照) [用例] 卵な (が) ビシャケテタ。

びしゃけとる 潰れて居る (つぶしむぎ、びしゃきむ
ぎ参照) [用例] 柿な (が) ビシャケトル。

ひそまっとた 小さくなって居た、隠れて居た (ひそ
まる参照) [用例] 後い行て (に、行って) ヒソマ
ットタ。

ひそめて 片付けて、整頓して (かたづく参照) [用
例] 部屋もヒソメテ、えごつとしとけ (よいよう
にしておけ)。

ひそめときや 片付けて置けば (ふせぐ参照) [用例]
部屋もえごつと (完全に) ヒソメトキャええのん
(よいのに)。

ひだりい 空腹で有る (あささぶいと…参照)

ひだりなきくねよってん 酒が飲めるのだから (ひだ
り参照) [用例] あや (彼は) ヒダリナキクネヨッ
テン、用意しとけよお (して置きなさい)。

ひちぎる 力を入れてもぐ、ちぎる (ひっちぎる参
照) [用例] なっとる (なっている) 柿 ヒチギル。

ひっかかった 騙された (ひっかける参照) [用例]
あんな (彼の) 口ん (に) ヒッカカッタ (ヒッカケ
ラレタ)。

ひっかけたた 騙してやった (ひっかける参照) [用
例] 嘘言うて ヒッカケタタ。

ひっかけられた 騙された (ひっかける参照) [用例]
ひっかかった参照

ひっかづいて 担って (あき参照) [用例] ヒッカズ
イテ 行た (行った)。

ひっかよや 交換しましょう (ひっかえ参照) [用例]
飴とせんべ (煎餅) と ヒッカヨヤ。

ひっからかして 光らして (いかめた、きょおふ、ぞ
めく、ほおたろ、めさんかくんする、めえむかれん

ど参照) [用例] めえ (目) ヒッカラカシテ 怒つとる (怒って居る)。

ひっからかしとけ 自慢して置け、光らしておけ (ひっからかす参照)

ひっからかんどる 引っ乾いて居る、潮がよく干いて居る (そこり参照) [用例] 潮なよお (が、よく) 干いて ヒッカラカンドル。

ひっくう 低く (あとふまえ参照) [用例] 頭もヒックウせえまあ (しなさい)。

びっくりした 驚いた (あらぎもとられた参照) [用例] 蛇な (が) 出て来て ビックリシタ。

ひっこお しつこく (へしまげる参照) [用例] あのおなご (女) ヒッコオて、嫌いや (だ)。

ひっこんだて 引き込んでしまつて (ひっこみ参照) [用例] 喉い (へ) ヒッコンダテ 咳な (が) 出て。

ひっちゃかった 開いた (さかさまつげ参照) [用例] マツタケも全なヒッチャカッタな (のは) 匂な (が) 少ない。

ひっちゃけ 広げよ (ぶく参照) [用例] 股も、もつとヒッチャケえ。

ひつつかめて 捕まえて (つえ参照) [用例] 野郎猫 ヒツツカメテ、どづいたた (撲つてやった)。

ひつつめといて 引き締めて置いて (あしなかじょおり参照) [用例] 頭のけえ (毛) ヒツツメトイて束ねて。

ひつて 振るい分けて (あらづき参照) [用例] 篩でヒツテ 分ける。

ひっぱや 引っ張れば (もちのくい参照) [用例] あんまり (余り) ヒッパヤ 切れてかれ (切れて行く)。

ひつやあないね 必要無いのです (ぼおふ参照) [用例] 禿げ頭に櫛や (は) ヒツヤアナイネ。

ひでつて 晴天になって、晴天が続いて (うずきむいかにあめふらばいけのまこもみなかれる、ふさく参照) [用例] よお (よく) ヒデツテ 池の水もなんも無いね (少しも無いのです)。

ひとついろ 一つの色 (むじ参照)

ひとつどやま 一年焚くだけの薪の出る山の木 (かいやま参照)

ひとつごみ 人で混雑して居る事、多人数の集まる事 (おしやいゝゝいゝ、づらつと参照) [用例] 盆踊り見いんいたや (見に行ったら) ヒトゴミでめえやせん (見えない)。

ひとつこら 以前のある時は、(ひとつこら参照) [用例]

ヒトコラ ○○さんも よお来たけど (よく来たが) このごろ (最近は) 来やせんわい (来ません)。

ひとねり 一眠り (ねたる参照) [用例] 此处で、ヒトネリしたろ (してやろう)。

ひとのくちはんのも 人の噂になる (なだい参照)

ひとや 一人は (あらいもんし、きびや参照) [用例] ヒトヤ起きとんのん (て居るのに) ヒトヤ まだ寝とられ (て居る)。

ひとりあま 一人で行動する海女 (ふねど参照)

ひなささせん 日が当たらない (かげやまのとびき参照) [用例] 北の部屋はヒナササセン。

ひなずんぶりいれる 完全に日没になる (よだこく参照)

ひねもん 古くなった物 (ひねた参照)

ひのおちあい 日没 (かゝみずみ、よあみ参照)

ひのささんところ 日光の当たらない所 (かげやま参照)

ひまあり 日の当たる所 (ひざわり参照)

ひやがった 水が無くなった (ひやがる参照) [用例] 雨な降らせんもんで (が、降らないので) 井戸の水もヒヤガッタ。

ひゅうちばこ 火打箱、マッチなどを入れる箱 (ひばこ参照)

びゅつとして 立派にして (びゅうと参照) [用例] ビュツシテ 出てた (出て行つた)。

びよ び [用例] ゆう、あビョヤ (湯浴びましよう)。

ひよやええし 天気はよいので (はなじゃみせん参照) [用例] 今日は、ヒョヤエエシ 何処いでも、行くやれ (行きましよう)。

ひよりなおちる 天候が悪くなる (かた、せつくつゐたちととくわず参照)

ひよりみる 状態 (病気、気分等) が天候で左右される [用例] 頭な (が) ヒヨリミル。

ひら 昼は (あいぐいし参照) [用例] ヒラ 喰うて来た。

ひらくとお 平に (さんばいづけ参照)

ひらけてきて 色気付いて来て、世情に親しんで (ひらけとる参照) [用例] あの子もヒラケテキテ 美しなつて。

ひらけとらせん 世情にうとい、色気付かない (ごつくさい参照) [用例] あの娘もまだヒラケトラセン (ヒラケヤセン) よつて (から) ごつくさいわい (野暮です)。

ひらげやせん 世情(こう)とい、生真面目(なまこころ)で有る(ご)つ

くさい参照) [用例] ひらけとらせん参照

ひらたな 平(ひら)な (ひらたく参照)

ひろげまくる 散(ち)らばす (わやにする参照) [用例]

玩具(おもちゃ)で部屋(へや)も ヒロゲマクル。

ひろなる 広(ひろ)くなる (あらかる参照) [用例] 片付け

たら部屋(へや)もヒロナル。

びんたかけて 頬(ほ)を平手(へい)で叩(たた)いて (びんづら参照)

ひんよおわけてくれ 平等(へいとう)に分けて下さい (せんど参照)